

広報させば 情報カレンダー 07. 6月

※10日以前の情報の詳細は、主に前月号に掲載しています。

日	月	火	水	木	金	土
6月は環境月間、食育推進月間 西海パールシーセンター市民無料招待月間					1 「人権擁護委員の日」特設相談	2 動物獣舎探検隊 (16日、30日も)
毎月第1水曜 毎月第2金曜	中小企業金融公庫出張相談 (13時～15時、佐世保商工会議所) 発明相談 (10時～15時、市役所商工労働課)				調理講習会・幼児食	動植物園誕生祭～10日
3 水感謝祭inさせば 市民大清掃 えびしでたのし 緑祭り	4	5 出前保育「みんなよっといでー!」 (15日、7月4日も)	6 中小企業金融公庫出張相談	7 早岐茶市梅市 ～9日	8 発明相談	9 市中学校体育大会 ～11日
10 松の手入れ講習会 海辺のフェスティバル in SASEBO	11	12	13	14	15 市中学校体育大会 (水泳競技)	16 いのちを見つめる講演会 お茶の間トーク (相浦地区)
17 父の日サンセットクルーズ 佐世保空襲を語り継ぐ市民の集い	18 佐世保空襲写真展 ～29日	19 子育て支援親子遊び (25日も)	20 市立総合病院の健康教室 保育所体験	21 国民健康保険の夜間相談 (26日も) 図書館特別整理休館 ～30日	22	23 させば食育フェア2007 防犯まちづくり講習会
24 国民健康保険の日曜相談 総合グラウンドプールオープン ～9月2日	25	26	27	28 女性の悩み相談 館所蔵品展 ～7月22日	29 佐世保空襲死没者追悼式	30 お茶の間トーク (針尾地区)
3日 ラクダのポイントガイド 17日 ロボット教室 (23日、24日も) 観葉植物の育て方講習会 カブトムシの飼育方教室			●7月上旬の主な行事予定 7日 お茶の間トーク (清水・大久保地区) させば男女共同参画週間フォーラム 市少年の主張大会 史跡体験ツアー 8日 げんきいっぱい、えがおいっぱい			

テレホンガイド

■救急・火災

- 医療機関案内……………☎0956-23-8199
- 火災情報……………☎0180-999-999
- エイズ・性感染症相談 (エイズ検査の予約も可)
- 専用相談電話……………☎0120-104-783
- Eメール……………shc783@city.sasebo.lg.jp

■教育相談

- 青少年教育センター……………☎0956-22-0077
(毎月第3日曜の13時～16時には、
休日教育相談を受け付けています)

■女性相談

- スピカ……………☎0956-24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)

■消費生活相談

- 市消費生活センター……………☎0956-22-2591
(土・日曜、祝日、年末年始を除く毎日、
8時30分～17時15分)

■6月の健康テレホン

- 県保険医協会……………☎0956-23-4300
※3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます
- 月→のどの違和感 火→食道がんの手術
- 水→小児科への上手なかかり方
- 木→しみ、そばかす
- 金→ドメスティックバイオレンス、がまん
しないでまず相談
- 土、日→子宮筋腫を放置したらどうなるか

◎人のうごき (5月1日現在)

- 総人口 255,991人 (+1,815)
- 男 120,342人 (+1,240)
- 女 135,649人 (+575)
- 世帯数 101,475世帯(+1,278)

4月中のうごき 転入 2,970 転出 1,155
出生 181 死亡 181

◎見て、聞く させば市政だより

- テレビ 毎週土曜日放送 (約5分間)
NBC 9時25分 N1B 9時25分
NCC11時40分 KTN11時40分
- ラジオ NBC 毎週日曜日 9時25分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分
- 長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄

民生委員・児童委員の改選にご協力ください

ことし12月、民生委員・児童委員が全国一斉に改選されます。事前に地域の皆さんから候補者を推薦していただくこととなりますので、ご協力をお願いします。

民生委員とは、地域の人たちのいろいろな悩みや相談に応じる地域福祉の担い手です。任期は3年で、子どもに関わる問題を担当する児童委員も兼ねます。

選任基準 人格識見が高く、広く社会の実情に通じ、社会福祉の推進に熱意のある人

選任方法 7月下旬に、町内代表者などによる地区推薦準備会で候補者を選出していただき、市と県の審査を経て、厚生労働大臣より委嘱されます。

主な職務内容 ▶必要に応じ、住民の生活状態を適切に把握する▶援助が必要な人へ、関係機関と連携しながら適切な助言、情報を提供する▶地域の人たちの福祉の増進を図るため、各種相談の受け付けや訪問活動をする

※民生委員・児童委員は秘密厳守が法律で義務付けられています。

- お尋ね 保健所内・総務企画課 (☎0956-24-1111)

歴史散歩

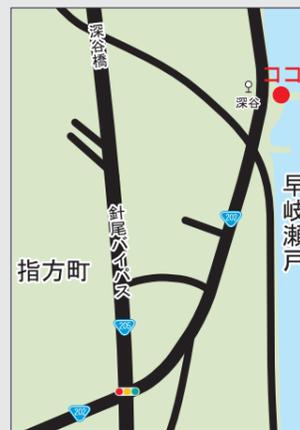
第503回

深谷の渡し場 (指方町)

早岐瀬戸。新しい架橋工事が行われていた近くの指方町深谷には、昭和四十年ごろまで瀬戸の渡し場がありました。近所に住む川下文字さん(八十三歳)は「対岸の広田は、その名のとおり広々とした田んぼ。手こぎ和船が対岸にいるときは、こちらから「おい」と呼んで迎えに来てもらいました。実家が黒髪町で、広田から線路伝いに早岐駅まで歩き、日宇駅まで汽車に乗って里帰りしてました」と懐かしそうでした。

最後の渡し守は、故鳥羽実さん。近くで大工業を営んでいる甥の忠さん(七十歳)は「叔父は七十代半ばまで櫓を握っていました。舟は荷車のリヤカーも積める長さで、十人ほどが乗れました」とのこと。

深谷は、その名前のように早岐瀬戸から西に向かって切れ込んだ谷です。渡し場からの道は、飯盛山の裏を通り、山神谷に出て、江上支所や江上小学校に通じています。今の国道二〇二号が整備されるまで、深谷は江上村に入る早岐方面からの主要道筋の一つだったのです。



谷の中ほどの山の斜面にお堂が設けられ、二基の自然石墓碑が安置されています。物外信男と是空信女と戒名が彫られた夫婦塚で、夫が元文(一七三六)年、妻が一年後に亡くなっています。瀬戸の渡し場に近い海岸には地藏堂もあり、明治十(一八七七)年に柳末治という人から寄進されています。行き交う人や、地元の人々の無病息災、家内安全を念じての寄進でしょう。

東彼杵・西彼杵と佐世保を結ぶ貨客船の航路だった早岐瀬戸には、平戸藩の高札を掲げていた東町(親和銀行早岐支店付近)の札場の渡しなど、針尾島との間の渡し場が数カ所ありました。(筒井隆義)

